

校長先生のお話 No.1 1

R5. 1. 17

しゅく
祝

さつたっせい
全校で900冊達成！

思っていたのより、3カ月も早く達成できました。やればできるね～ 今945冊
次の目標 何とか6年生卒業までに 1200冊！

あきらめないためのコトバ

長い休み明けて「やる気が出ないなあ」って人はいませんか？だれでもそういうときはありますよね。
わたしもやる気が出ないときが、しょっちゅうあります。そんな時はどうするか。

- 1 やる気が出るまでボーっとしている。
- 2 むりやりがんばろうとする。

どちらもやってみます。でも1は時間がもったいないし、2は^{ながつづ}長続きしません。そんなときのわたしの1番
よくきく薬は、元気が出るコトバです。

校長室に、元気が出るコトバの日めくりがあります。200以上のコトバを元気の薬としておいています。
その中からいくつかしょうかいします。みなさんの元気にもなりといいのですが。

^{さいしょ}最初は、日本のゴッホと言われた、^{やましたきよし}山下 清 さんのインタビュー。

山下さんは、お金も持たず、全国を^{たび}旅しながら「ちぎり絵」をして
いました。食べる物は、行ったところで知らない人からもらう「お
にぎり」でした。そんな山下さんに、こう聞いた人がいます。

聞いた人「行ったところで、だれからも、おにぎりをもらえな
かったらどうするんですか？」

山下さん「おにぎりがもらえないことは、ないんだな。」

聞いた人「それはどうしてですか？」

山下さん「おにぎりをもらえるまで歩くから、もらえないということは、ないんだな。」

あきらめることがないから、^{かな}叶わないことはないんですね。

日本一の^{けいえいしゃ}経営者（会社を作り、大きくしていく人）と言われる松下幸之助さん^{まつしたこうのすけ}も同じようなコトバを使っ
ています。

聞いた人「松下さんは、^{しっぱい}失敗したらどうするのですか？」

松下さん「わたしは、失敗したことはありません。」

聞いた人「本当ですか？そんなことはむりでしょう？」

松下さん「わたしは何でも^{せいこう}成功するまで続けます。ですから失敗したことはないんです。」



山下清さんのちぎり絵「富田林の花火」





アメリカにも同じようなコトバを話している人がいます。世界最高のバスケットボールプレーヤーと言われるマイケルジョーダンです。

「おれは試合に負けたことは一度もない。ただ時間が足りなくなっただけだ。」

「あきらめてないぞ」ってことでしょう。

世界選手権を6回連続で優勝した体操の内村航平さん。

けがをして、体操選手としては難しいといわれる30さいが近づき、マスコミの人から「もう体操はむりなんじゃないか」と言われこう答えました。

「まだ、自分の限界じゃない。どこまでいけるかわからないけれど、自分



の限界に挑戦したい。」

ボクシングの辰吉丈一郎

「99%無理？ ならあと1%あるやん。」



発明王と言われるエジソン。1300以上の物を発明したといわれます。

「われわれの一番大きな弱点は、あきらめることである。成功するためのもっとも確かな方法は、いつも『もう一回だけチャレンジする』ということである。」

そんなエジソンは、1300もの発明のために20000回も失敗したといわれています。そんなに失敗していやにならなかったんですかと聞かれて、こう答えたそうです。

「あれは失敗ではない。うまくいかないやり方を20000回確かめたのだ。本当の失敗とは、あきらめることだ。」

最後にドラえもんから

「ひとつだけ教えておこう。

君はこれからも何度もつまずく。

でもそのたびに立ち直す強さも持っているんだよ。」

45年後ののび太が、現在ののび太に言ったセリフ

